

## 令和6年度外部評価会 集計表(農業者)

所属名: 曾於畑地かんがい農業推進センター 農業普及課

課題名② 曾於地域における畑かん営農の確立						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	3			・畑かんの水利用の増加が必要。	・曾於地域には畑かん整備事業の終了及び継続地区があるが、継続して畑かんを活用した営農推進を実施していく必要がある。
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者, 地区)の選定は適切であるか	3				
活動体制・活動 方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	3			・畜産農家の水利用向上を具体的にどのように行っていくのか。 ・動力巻取機などの活用が、労力削減につながっており、良い取組である。	・畜産農家の飼料作物栽培では、給水栓による作業機の破損事故が多いので、事故防止対策等を含めて、畜産農家が畑かん水活用ができる対策を検討していく。 ・今後も受益者が畑かん活用しやすい手法等、実証展示を通じて検討していく。
	④活動(活動方法, 時期, 手段)は適切であるか	3				
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3				
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	2	1			
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者, 地域への波及性があるか	3				
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	3				

## 令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 曾於畑地かんがい農業推進センター 農業普及課

課題名② 曾於地域における畑かん営農の確立						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	4	1			
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	3	2		・園芸農家は畑かんを利用しやすいが、畜産農家は利用しにくい。 ・肉用牛用の飼料作が不足しているため、水を利用した早急な対策が必要。	・畜産農家の畑かん水活用が進まない理由の一つに、給水栓に作業機が接触し破損事故が発生することがあげられる。事故防止に向けて目印等の設置など農家が取り組みやすい対策を検討していく。
活動体制・活動 方法	③関係機関と連携して活動しているか	4	1		・志布志市では、畑かんの利用は茶の防霜対策が多いが、荒地の場所もある。水が不足し茶の新植ができないところは、他作物を検討できないか。	・乾燥に強い作物はさつまいも等があるが、地域の営農類型も踏まえて検討する必要がある。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	4	1			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	4	1			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	2		・畑かん利用の有無による収量比較の結果があれば教えて欲しい。	・曾於地区の重点品目については、現在まで水利用による増収効果の試験データなど整理されているので、必要に応じて提示していく。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	3	2			
活動の 波及性 と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	2		・地域によって利用面積が少ないのは利用効果の周知が足りないのではないか。 ・園芸・花き等には必ず必要な事業であり、利用を拡大して欲しい。	・見せる展示ほ等の設置や講習会等で畑かん活用について啓発しているところではあるが、今後も継続して進めていく。 ・整備事業終了地区においては、散水器具の導入が自己負担になり、難しいところではあるが土地改良区の貸出器具等を活用して、利用拡大を進めたい。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	3			

# 曾於地域における 畑かん営農の確立



## 1 課題を取り上げた背景①

(1) 曾於地域の畑かん 約9,000ha  
令和5年度末現在

畑かん地区名 (旧町名)	事業完了年度	受益面積	開栓率
曾於東部 (末吉, 松山, 志布志)	H24年度	約3,000ha	約28%
曾於南部 (有明, 大崎, 輝北)	R4年度	約4,000ha	約31%
曾於北部 (大隅, 末吉, 財部)	R9年度 (見込)	約2,000ha	約8%
大隅南 (大隅)	R7年度 (見込)	約200ha	約89%

※開栓率 = 畑かん水利用面積 ÷ 畑かん散水可能面積

### 1 課題を取り上げた背景

### 2 取組体制

### 3 課題の内容と成果

(1) 畑かん営農推進体制の整備及び強化

(2) 畑かん利用の理解促進

(3) 各品目(作目)ごとの畑かん利用の促進

### 4 成果のまとめ

### 5 今後の課題と取組

### 6 最後に

## 1 課題を取り上げた背景②

(2) 畑かんは農家所得の向上に寄与

栽培面積等の推移 (平成27年から通水)

	栽培面積 (ha)			単収 (t/10a)		
	H26年	R4年	対比 %	H26年	R4年	対比 %
甘藷	9	21	233	2.8	3.2	114
大根	12	22	183	7.0	11.0	157
ごぼう	2	10	500	0.8	1.2	150
計	23	53	230			
経営面積	18	36	200			
土地利用率	128%	147%				

図1 曾於北部のA法人の推移  
(曾於北部の畑かん優良経営体事例調査より)

## 1 課題を取り上げた背景③

### (3) 水利用の効果(増収効果)と多目的利用の理解促進

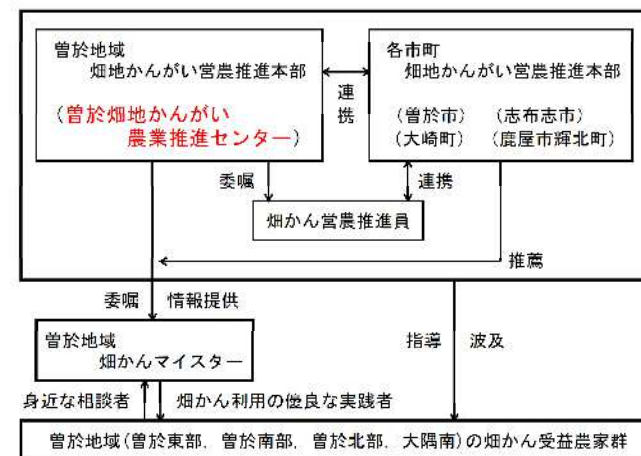
過去のデータから、各品目で2～3割増収

品質向上や生理障害を回避した事例もある

理解促進が重要

## 2 取組体制

### 曾於地域の 畑地かんがい営農推進の体制図



## 1 課題を取り上げた背景④

### (4) 給水栓の開栓率が低い

① 畑かん営農の定着と事業効果の早期実現のためには、開栓率の向上が必要

② 開栓率が低いため、土地改良区の運営にも影響

※維持管理費(10a当たり年間水利用料金)

普通畑:3,600円, ハウス:6,000円, 茶:12,000円

開栓率の向上が、  
曾於地域の最重要課題。

## 3 活動内容及び成果 (1) - ①

### (1) 畑かん営農推進体制の整備及び強化

#### ア 畑かん営農推進本部の活動強化支援

令和元年に

◎曾於地域畑地かんがい営農ビジョン策定  
(曾於市, 志布志市, 大崎町, 鹿屋市輝北町)

・目標年度: 令和10年

・重点品目

野菜:14品目, 花き:3品目, 工芸作物(茶)

いも類:2品目, 果樹:1品目, 飼料作物

中間年度にあたり、重点品目について検討

### 3 活動内容及び成果（1）- ②

#### ○重点品目での聞き取り調査の実施

畑かん受益地における作付は、飼料作物が最も多い。

畜産農家に、畑かん利用に関する聞き取り調査を実施。

### 3 活動内容及び成果（1）- ③

#### ア 畑かん営農推進本部の活動強化支援

◎曾於地域畑地かんがい営農技術マニュアルの検討

作成時期

平成23年3月および

平成24年2月（追補）

畑かん事業で導入の進む

・噴射ホースおよび動力巻取機について  
追補で加える予定

#### 畜産農家への畑地かんがい水利用に関するアンケート

畑地かんがい水利用に関するアンケート  
氏名（ ） 氏名（ ） 氏名（ ）  
〒 市町 区 丁目 番 号

曾於地域では、水を活用した高麗や干ばつ時でも安定して農作物を栽培できる環境づくりを目指して、畑地かんがい施設や取水器具の整備がされています。畜産農家の皆様は活用されている畑地かんへの整備や活用状況、困っていること、要望等についてお聞かせください。該当するものに○を付け、（ ）がある場合はご記入ください。

問1 現在使っている飼料畑に、畑かんの給水栓が設置されている箇所がありますか？  
1 有る 2 無い 3 今後設置予定の畑がある

問2 上の問1で、「2 有る」と答えた方は、下記の設問にお答えください。1 給水栓  
(1) 給水栓(井筒や給水口)に飼料作機等が接触して破損する場合がありますか？  
1 有る 2 無い 3 接触しそうな状況、「ヒヤリ」したことがある

(2) 給水栓への接触事故の内容についてお聞かせください。(横書きで記入)  
飼料作機や作業機械が接触し、刈り刈りモーター、アタック機構が接触し、給水栓の井筒が破損した  
機械が接触し、給水栓の給水口などまで破損した  
給水栓や上の接触事故などで、入がけをしたことがあった  
その他

(3) 給水栓を設置している給水栓がありますか？(※ 分岐している給水栓)  
1 有る 2 無い 3 必要になったら設置したい畑がある

7割の畜産農家で「給水栓に飼料作機等が接触して破損した」という声があった。

受益者が利用しやすい畑かん整備に向けて生かしていきたい。

#### 曾於地域畑地かんがい営農技術マニュアル



平成23年3月作成 平成24年2月（追補）



### 3 活動内容及び成果 (1) - ④

#### ア 畑かん営農推進本部の活動強化支援

畑かん器具研修会  
(技術員向け)



### 3 活動内容及び成果 (1) - ⑥

#### 畑かんマイスターの主な活動

(1) 畑かんを利用した優良経営の実践

(2) 周辺農家の畑かんに係わる相談者

(3) 実証ほ・展示ほ(見せる展示ほを含む)の設置

(4) 実演会・研修会等の協力

(5) 事例調査・事例発表等の協力

15

### 3 活動内容及び成果 (1) - ⑤

#### イ 畑かんマイスターの育成及び活動強化支援

(1) 曾於地域が、県内(九州)で、初めて、「畑かんマイスター」を設置。

(2) 畑かん利用の実践者であり、農家の身近な相談者。

R6年度の畑かんマイスター32名

曾於東部 10名

曾於南部 12名

曾於北部 9名

大隅南 3名

曾於市 17名

志布志市 8名

大崎町 5名

輝北町 2名

### 3 活動内容及び成果 (2) - ①

#### (2) 畑かん利用の理解促進

##### ア モデル地区の畑かん営農推進

モデル地区の選定(2地区)

① 曾於北部(令和9年度事業終了予定)

② 大隅南地区(令和7年度事業終了予定)

畑かん事業実施地区を選定

### 3 活動内容及び成果(2) - ②

#### ○曾於北部

国営・県営事業で、約2,000haの畑かんを整備

給水栓設置(45%)および  
開栓率(8%)の向上が課題

#### 曾於北部畑かんPT会

曾於市(耕地林務課, 農政課),

曾於北部土地改良区, 土改連曾於支部

畑かん営農センター(水利事業課, 農業普及課)

・畑かん事業(給水栓設置率向上等)および畑かん営農  
に関して検討

### 3 活動内容及び成果(2) - ④

#### ア モデル地区の畑かん営農推進



畑かん器具実演会(農家向け)



### 3 活動内容及び成果(2) - ③

#### ○大隅南地区

県営事業で、約200haの畑かんを整備

令和4年4月, 大隅南土地改良区設立

畑かんマイスター等の提案で、受益地内の白菜  
とキャベツを作付けるほ場は、全て開栓。  
(作付調査による維持管理費(賦課金)の設定)

178haが開栓(開栓率89%)

事業最終年に向けて散水器具等の導入事業を  
実施中

### 3 活動内容及び成果(2) - ⑤

#### ア モデル地区の畑かん営農推進

R5年度から噴射ホースの動力巻取機の改良について検討  
R6年から改良型で事業導入



動力巻取機使用で手動  
では負担の大きい噴射  
ホースの撤去作業が容  
易にできる

ホースガイド等の  
改良



### 3 活動内容及び成果 (2) - ⑥

#### ○見せる展示ほの設置

畑かんマイスターを中心に42か所設置  
重点地区に17か所設置



曾於東部 14か所	曾於市 28か所
曾於南部 11か所	志布志市 5か所
曾於北部 10か所	大崎町 6か所
大隅南 7か所	輝北町 3か所

← この旗(のぼり)が目印

### 3 活動内容及び成果 (3) - ①

#### (3)各品目(作目)ごとの畑かん利用の促進

##### ア 実証・展示ほの設置

##### ①液肥混入器の実証

飼料作物

##### ②畑かん水を利用した還元消毒

さつまいも苗床,施設花き

##### ③基礎水等の活用実証

露地野菜(新ごぼう, たまねぎ, キャベツ, はくさい)

##### ④防霜対策の支援

茶

#### 見せる展示ほ設置状況

令和6年度 見せる展示ほ設置状況

令和2年1月23日 現在

No.	月 日	設置市町 営農推進本部	部門	農家名	マイスター	地区名	設置ほ場住所	備 考	位置情報
1	8月6日	曾於市	飼料作物 (実証)			北部	大隅町 坂元	散水ホース(スミレイン40HD)	
2	8月5日	曾於市	飼料作物 (実証)			東部	末吉町 南之郷	散水ホース(スミレイン40HD) → 郡日〜ルカ〜	
3	7月30日	曾於市	ごぼう		○	大隅南	大隅町 大隅南	散水ホース(スミレイン40HD)	
4	8月16日	曾於市	ごぼう			大隅南	大隅町 大隅南	散水ホース(スミレイン40HD) ※台風10号被害→耕転	

QRコード

- ・見せる展示ほ設置場所を整理し, 関係機関と共有
- ・本年度は, ネット上で確認できるよう設置ほ場位置のQRコードを添付

#### 実証ほ実績

#### 新ごぼうにおけるかん水の効果

播種日: 令和5年8月28日

噴射ホース設置: 令和5年8月30日



30~40cm付近に  
岐根発生が多かった

1月10日収量調査

単収 kg/10a

・実証区: 1.8t(140%)

・慣行区: 1.3t





### 3 活動内容及び成果 (3) - ②

#### イ 栽培暦の水利用項目の必須記載の推進

畑かん水活用記載品目

新ごぼう(R5～)

はくさい(R6～)

抑制かぼちゃ(R6～)

アメダスデータを基に降水量状況の整理

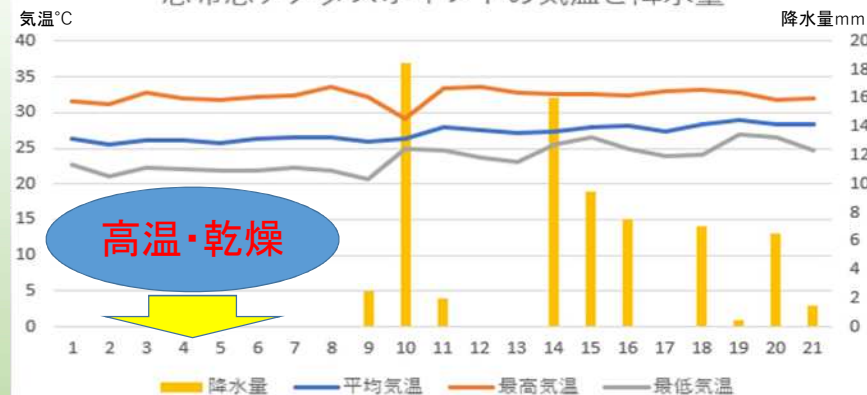
R6年度の降水状況

降水量が少なかった時期

8月上旬, 9月上旬, 12月

令和6年9月

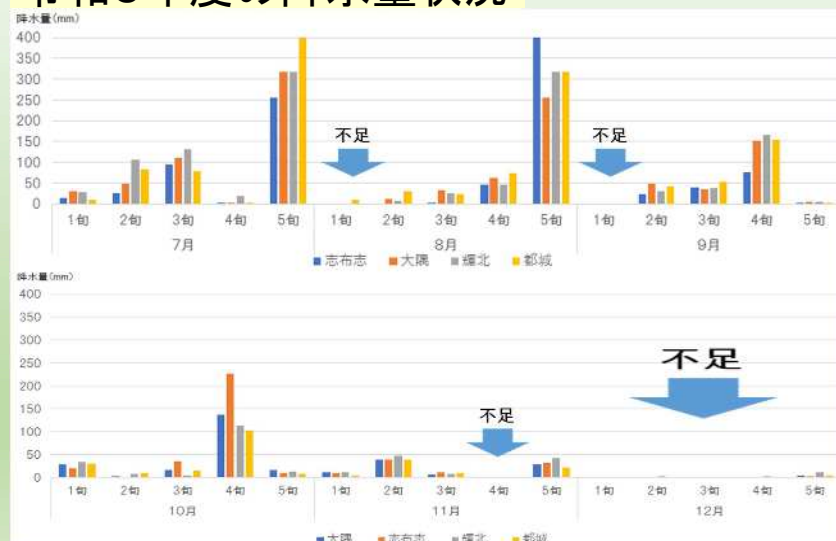
志布志アメダスポイントの気温と降水量



9月上旬の高温乾燥期に、露地野菜や茶園で畑かん水が活用された

### 3 活動内容及び成果 (3) - ②

令和6年度の降水量状況



### 4 成果のまとめ ①

1 実演会や見せる展示ほの設置等により、畑かん営農の理解促進を図った。

2 各品目ごとに畑かんの水利用に関する実証・展示ほを設置し、利用促進を図った。

## 4 成果のまとめ ②

- 3 露地野菜農家では、播種や定植時での畑かん水が活用されている。  
茶園でも、防霜対策以外で高温乾燥時期に畑かん散水が活用された。
- 4 畜産農家での給水栓設置の課題を整理し、関係機関と検討した。

## 5 今後の課題と取組

- 1 給水栓設置・開栓率の向上  
(1) 畑かん利用の理解促進  
(2) 実証ほ・展示ほの設置 等
- 2 畑かんの推進のための推進体制の充実・強化
- 3 曾於地域畑地かんがい営農ビジョンの実現

## 6 最後に

- 1 畑かんは、農家に必要不可欠。
- 2 引き続き、関係機関・団体と一体となって、畑かん営農の推進に取り組む。

